

授業科目名	言語聴覚障害特論Ⅲ	授業形態	講義	配当学期	3年（前期）
担当教員名	上村朋久、仲山晃生、島本裕士、春芳準朗	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕 実習前セミナーとして、臨床実習に備え、実習に必要な知識や検査などを再確認する。</p> <p>〔学習目標〕 成人分野および小児分野での重要事項を確認し、臨床実習が円滑に行える。 (医療・リハビリ基礎分野も含む)</p>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	オリエンテーション				
第 2 回	接遇について：患者様・家族様・施設スタッフに対し、実習生としての適切な接遇を身につける。				
第 3 回	食事介助：摂食嚥下障害の患者に対し、安全かつ適切な食事介助方法を身につける。				
第 4 回	画像読影：脳画像から部位を特定でき、推察される各種障害がわかる。				
第 5 回	デイリーの書き方：デイリーに書くべき事項、観察すべき事項等がわかり、迅速にまとめる能力を身につける。				
第 6 回	ICF・FIM・BI：ICFに基づき目標設定ができる。FIM・BIの評価ができる。				
第 7 回	医療安全①：患者に起こりうるリスクを予測し、リスク管理することができるようになる。				
第 8 回	医療安全②：各臨床現場で起こりうるリスクについて学ぶ。				
第 9 回	トランスファー①：車椅子からベッドへ、ベッドから車椅子へ安全に移乗ができるようになる。				
第 10 回	トランスファー②：車椅子からベッドへ、ベッドから車椅子へ安全に移乗ができるようになる。				
第 11 回	小児訓練①：言語発達段階に即した指導・訓練・支援の方法を学ぶ。				
第 12 回	小児訓練②：指導技法を用いた指導・訓練・支援の方法を学ぶ。				
第 13 回	検査練習①：成人・小児領域における各種検査方法の手順を学ぶ。				
第 14 回	検査練習②：成人・小児領域における各種検査方法の手順を学ぶ。				
第 15 回	検査練習③：成人・小児領域における各種検査方法の手順を学ぶ。				
評価方法	個々の領域の小テストの得点を合算して評価する。				
教科書 参考図書	〔教科書〕 必要に応じて別途資料配布				
	〔参考図書〕 必要に応じて別途資料配布				
履修上の 留意点	専門科目の授業について一通り目を通しておくと理解しやすいです。				
メッセージ	この科目の後に実際の実習に赴くこととなりますので、真摯に受講すること。				